



2023/2024

シーズンラインアップ

Opera

公益財団法人 日本オペラ振興会
THE JAPAN OPERA FOUNDATION

藤原歌劇団・日本オペラ協会
THE FUJIWARA OPERA・NIHON OPERA KYOKAI



公益財団法人日本オペラ振興会

理事長 渡辺 佳英 Yoshihide WATANABE

学歴	1972 年 3 月	慶應義塾大学 工学部 計測工学科 卒業
職歴	1975 年 9 月	ランディス・アンド・ギア (株) (スイス) 入社
	1977 年 1 月	(株) 野村総合研究所入社
	1980 年 7 月	大崎電気工業 (株) 入社 取締役
	1984 年 7 月	同社 常務取締役
	1986 年 7 月	同社 専務取締役
	1987 年 6 月	同社 代表取締役副社長
	1988 年 11 月	同社 代表取締役社長
	2009 年 1 月	同社 代表取締役会長
公職歴	2009 年 8 月	特定非営利活動法人 東京都更生保護就労支援事業者機構 会長
	2017 年 12 月	経済産業省 産業サイバーセキュリティ研究会 委員
	2018 年 4 月	文部科学省 日本ユネスコ国内委員会文化活動小委員会 調査委員
民間団体歴	1999 年 6 月	東京経営者協会 副会長
	2000 年 11 月	アジアハンドボール連盟 副会長
	2000 年 11 月	国際ハンドボール連盟 理事
	2011 年 4 月	(公財) 東京タクシーセンター 会長
	2013 年 11 月	東京商工会議所 特別顧問
	2018 年 11 月	慶應義塾 評議員
	2019 年 6 月	(公財) 日本ハンドボール協会 名誉会長
	2020 年 6 月	(公財) 日本オペラ振興会 理事長



藤原歌劇団総監督

折江 忠道 Tadamichi ORIE (バリトン)

東京藝術大学卒業、同大学大学院修了。ミラノ・ヴェルディ音楽院で学ぶ。1982 年ヴィオッティ国際コンクール第 2 位。1982 年・83 年アレクサンドリア国際コンクールを優勝し、1982 年の優勝により、アレクサンドリア劇場「ドン・ジョヴァンニ」タイトルロールでデビュー以降、欧州各地で「ラ・ボエーム」「蝶々夫人」「リゴレット」等主要な役で活躍。フェニーチェ劇場主催ロッシニ「小荘厳ミサ」、フォーレ「レクイエム」等のコンサートや音楽祭に多数出演。1992 年ミラノで RAI (イタリア国営放送) にてオーケストラと共演。藤原歌劇団には 1988 年「ラ・トラヴィアータ」ジェルモンで大成功を収め、数々の作品で好評を博している。新国立劇場、びわ湖ホール、愛知県立芸術劇場のオペラや、「第九」、NHK ニューイヤーオペラコンサートをはじめ各種コンサートに出演し、日本を代表するプリモ・バリトンとして活躍を続けている。2016 年より藤原歌劇団第五代総監督就任。第 16 回ジロー・オペラ賞受賞。昭和音楽大学特任教授。

公益財団法人日本オペラ振興会 常務理事



日本オペラ協会総監督

郡 愛子 Aiko KORI (メゾ・ソプラノ)

1975 年に日本オペラ協会より、1978 年に藤原歌劇団より、それぞれデビュー。日本初演オペラや創作オペラなどで卓越した才能を発揮するとともに顕著な実績が認められ、日本で唯一のオペラ賞であったジロー・オペラ賞を、1985 年・86 年に 2 年連続で受賞。また 1987 年には、自身初のリサイタル「オルフェオの世界」で昭和 62 年度文化庁芸術祭賞を受賞。これまで両所属団体の公演はもとより、小澤征爾指揮「ヘネシー・オペラ・シリーズ」、新国立劇場主催公演、ほか数多くのオペラに出演。2017 年度からは、日本オペラ協会総監督として日本オペラの振興と発展に全力を注ぎ、2017 年度「ミスター・シンデレラ」「夕鶴」、2018 年度 日本オペラ協会創立 60 周年記念公演「静と義経」の東京初演、2019 年度 スーパーオペラ歌劇「紅天女」の新作初演、2020 年度「キジムナー時を翔ける」(第 29 回三菱 UFJ 信託音楽賞受賞) と、幅広い演目で公演を重ねてきている。

公益財団法人日本オペラ振興会 常務理事

公益社団法人日本演奏連盟 理事

公益財団法人日本オペラ振興会
藤原歌劇団 & 日本オペラ協会
2023/2024 シーズンラインアップ

藤原歌劇団公演

G. ドニゼッティ 作曲

「劇場のわがままな歌手たち」 オペラ全1幕

ニュープロダクション（新制作）

2023年4月22日（土）・23日（日）テアトロ・ジーリオ・ショウワ

日本オペラ協会公演 日本オペラシリーズ No.85

木下順二 作／團伊玖磨 作曲

「夕鶴」 オペラ全1幕

2023年7月1日（土）・2日（日）テアトロ・ジーリオ・ショウワ

藤原歌劇団公演（共催：新国立劇場・東京二期会）

G. ヴェルディ 作曲

「二人のフォスカリ」 オペラ全3幕

ニュープロダクション（新制作）

2023年9月9日（土）・10日（日）新国立劇場オペラパレス

藤原歌劇団公演

C. グノー 作曲

「ファウスト」 オペラ全5幕

ニュープロダクション（新制作）

2024年1月27日（土）・28日（日）東京上野

2月3日（土）日本特殊陶業市民会館 ビレッジホール（愛知）

日本オペラ協会公演 日本オペラシリーズ No.86

倉本 聰 原作／渡辺俊幸 作曲／吉田雄生 オペラ脚本

「ニンゲル」

新作初演・ニュープロダクション（新制作）

2024年2月10日（土）・11日（日）・12日（月祝）めぐろパーシモンホール

G. ドニゼッティ作曲

「劇場のわがままな歌手たち」 オペラ全1幕

LE CONVENIENZE ED INCONVENIENZE TEATRALI

2023年4月22日（土）・23日（日）テアトロ・ジーリオ・ショウワ【全2回公演】

指揮
Conductor時任 康文
Yasufumi TOKITO演出
Stage Director松本 重孝
Shigetaka MATSUMOTOダリア（プリマドンナ）
Daria(Prima Donna)

4/22

坂口 裕子
Yuko SAKAGUCHI

4/23

中井 奈穂
Nao NAKAIプロローコ
Procolo久保田 真澄
Masumi KUBOTA小野寺 光
Hikaru ONODERAアガタ
Agata押川 浩士
Hiroshi OSHIKAWA三浦 克次
Katsuji MIURAルイジア（第二ソプラノ）
Luigia (Seconda Donna)中桐 かなえ
Kanae NAKAGIRI岡田 美優
Miyu OKADAグリエルモ（劇場歌手）
Guglielmo (Primo Tenore)持木 弘
Hiroshi MOCHIKI所谷 直生
Naoki TOKORODANIピッペット（専属歌手）
Pippetto (Primo Musico)吉村 恵
Megumi YOSHIMURA高橋 未来子
Mikiko TAKAHASHIビスクローマ（作曲家）
Biscroma Strappaviscere (Maestro di Cappella)大石 洋史
Yoji OISHI鶴川 勝也
Katsuya TSURUKAWAチェーザレ（台本作家）
Cesare Salzapariglia (Droghiere e Poeta)和下田 大典
Daisuke WAGETA月野 進
Susumu TSUKINOインプレザーリオ（興業主）
Impresario坂本 伸司
Shinji SAKAMOTO相沢 創
Hajime AIZAWAディレクター・デル・パルコシェニコ（総監督）
Direttore del Parco Scenico豊嶋祐壹（両日）
Yuichi TOYOSHIMA

合唱：藤原歌劇団合唱部 Fujiwara Opera Chorus Group

管弦楽：テアトロ・ジーリオ・ショウワ・オーケストラ Orchestra del Teatro Giglio Showa

スタッフ

美術
Scenery Designer増田 寿子
Sumiko MASUDA衣裳
Costume Designer前岡 直子
Naoko MAEOKA照明
Lighting Designer成瀬 一裕
Kazuhiro NARUSE舞台監督
Stage Manager菅原 多敢弘
Takahiro SUGAHARA演出助手
Assistant Stage Director手塚 優子
Yuko TEZUKA



指揮：時任康文

Conductor: Yasufumi TOKITO

武蔵野音楽大学音楽学部器楽科卒業後、東京音楽大学指揮科に於いて、指揮法を紙谷一衛、汐澤安彦の両氏に師事。在学中より国内を中心にオペラの音楽スタッフ、及び合唱指揮者として活躍。小澤征爾氏、秋山和慶氏、若杉弘氏等のアシスタントを務めた。1990年「東京の夏」音楽祭に於いて、「チャールダッシュの女王」を指揮してデビュー。その後、数々のオペラ団体と共演。オーケストラの演奏会も多く、東京交響楽団を中心に、東京フィルハーモニー、新日本フィルハーモニー、日本フィルハーモニー、等を指揮し好評を博す。平成8年度文化庁派遣芸術家在外研修員として渡伊。イタリアオペラの巨匠N.サンティ氏に師事し、彼のアシスタントとして、メトロポリタン歌劇場、サンフランシスコ歌劇場、チューリッヒ歌劇場、ヴェローナ野外劇場等に同行し研鑽を積んだ。2001年ウズベキスタン、カザフスタンに於いて「夕鶴」を指揮。2002年新国立劇場小劇場シリーズでC.オルフ作曲「賢い女」を指揮し好評を博した。その他、R.V.ウィリアムス作曲「恋するサー・ジョン」（日本初演）、「天国と地獄」（仏語日本初演）、マルシュナー作曲「ヴァンパイア（吸血鬼）」（本邦初演）、G.シャルパンティエ作曲「ルイズ」（原語本邦初演）、ジョルダノ作曲「マダム・サンジェス」（本邦初演）等を指揮。現在、東京音楽大学講師、武蔵野音楽大学講師。藤原歌劇団には、2022年4月「イル・カンビエッロ」に続いて2度目の登場となる。



演出：松本 重孝

Stage Director: Shigetaka MATSUMOTO

東京室内歌劇場第一回旗揚げ公演に舞台監督助手として参加。舞台全般について舞台監督の田原進氏に学ぶ。その後、藤原歌劇団をはじめ二期会、関西歌劇団などでオペラ150公演余の演出助手を務める。演出を栗山昌良、佐藤信、故・栗國安彦の各氏に師事。1984～85年に渡伊し研鑽を積む。帰国後は藤原歌劇団を中心に外来演出家による公演で助手として活躍し、87年台北オペラに招かれ「リゴレット」で演出家デビュー。藤原歌劇団には92年「ラ・トラヴィアータ」で演出家としてデビューし、同年「カルメン」、93年「ラ・ボエーム」でも成果を挙げて世評を高め、着実にキャリアを築き上げた。藤原歌劇団による栗國安彦演出「蝶々夫人」では、栗國亡き後、数多くの再演演出を手掛け、05年マカオ国際音楽祭公演を成功に導き、日本を代表する演出家として確固たる地位を確立する。以降「カルメル会修道女の対話」「タンクレーディ」「セビリヤの理髪師」「オリイ伯爵」「ランスへの旅」「カプレーティ家とモンテッキ家」を新制作し、手堅い演出で好評を博している。日本オペラ協会では2000年原嘉壽子作曲「瀧廉太郎」（東京初演）を演出後、「美女と野獣」「ミスター・シンデレラ」などを手掛けている。02年ミラノ・ストレーラー劇場「蝶々夫人」でイタリアデビュー。03年、新作委嘱作品「光」（一柳慧作曲）で新国立劇場デビュー。19年3月「ロシアにおける日本年」「夕鶴」の演出を手掛け好評を得ている他、全国各地で数多くの作品を演出。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部、各地オペラ・スタジオでの指導など、若手歌手の育成にも力を注いでいる。東京都出身。



ダリア（プリマドンナ）：坂口 裕子（ソプラノ）

Daria(Prima Donna): Yuko SAKAGUCHI (Soprano)

愛知県立芸術大学卒業、京都市立芸術大学大学院修了。平成20年度文化庁新進芸術家海外留学制度在外研修員として渡伊、ミラノG.ヴェルディ国立音楽院を最優秀でディプロマ取得。第37回イタリア声楽コンクール入選。2008年伊リッソーネ市音楽コンクール優勝等、数々の国内外コンクールに入賞。「ディドとエネアス」ディド、「フィガロの結婚」伯爵夫人、「魔笛」パミーナ、08年スイスにて「ブルスキノ氏」のソフィアを好演し、ヴェルディ国立音楽院でも同役で出演。10年伊ベルガモ市、チルコロ・ムジカーレ・マイル・ドニゼッティ主催「ルチア」のタイトルロールでデビューし、同主催「愛の妙薬」「リゴレット」「ラ・トラヴィアータ」「アルジェのイタリア女」「連隊の娘」「夢遊病の女」等に出演。11年に活動の拠点を日本に移し関西を中心に活躍。藤原歌劇団には、16年「ドン・バスクワレ」のノリーナでデビュー以降、17年「ルチア」タイトルロール、18年「ドン・ジョヴァンニ」ドンナ・アンナ、19年「ランスへの旅」コルテーゼ夫人で出演。日本オペラ協会には、19年「静と義経」の静を好演。その他、「夕鶴」つう、NHK-FM リサیتال・ノヴァ、NHK ナゴヤニューイヤーズコンサートや宗教曲のソリスト、リサیتالで活躍している。平成26年度坂井時忠音楽賞、平成30年度兵庫県芸術奨励賞受賞。ジャバテル・サウンド・オペレーションズより支援を受ける。藤原歌劇団団員。日本オペラ協会会員。兵庫県出身。



ダリア（プリマドンナ）：中井 奈穂（ソプラノ）

Daria(Prima Donna): Nao NAKAI (Soprano)

国立音楽大学卒業。昭和音楽大学大学院修了。第1回立石信雄海外研修奨学金、昭和音楽大学下八川圭祐基金、同大学同怜会海外研修奨学金を得て渡伊し、アカデミア・ロッシニアーナ、ティチーノ・ムジカに参加。第2回ピエモンテ国際オペラコンクール第2位他。これまでに、雪嶋恵美子、玉川昌幸、大倉由紀枝、清水まり、U. フィナッツィ、D. マッツォーラの各氏に師事。2012年昭和音楽大学オペラ「愛の妙薬」でデビュー以降、「夢遊病の娘」など複数演目に出演。欧州では、16年伊・ペーザロにて、アカデミア・ロッシニアーナ公演「ランスへの旅」、17年スイス・ルガーノにてティチーノ・ムジカ公演「コジ・ファン・トゥッテ」に出演。藤原歌劇団には、19年「愛の妙薬」アディーナでデビューし好評を得て、「ランスへの旅」デリア、21年「フィガロの結婚」スザンナ、「ラ・ボエーム」ムゼッタ、22年「イル・カンピエッロ」ガスパリーナで出演している。

藤原歌劇団団員。昭和音楽大学非常勤講師。静岡県出身。



プロコロ：久保田 真澄（バス）

Procolo: Masumi KUBOTA (Bass)

国立音楽大学卒業、同大学大学院修了。第26回江副記念財団リクルートスカラシップ生。1994年五島記念文化財団奨学生として渡伊。第62回日本音楽コンクール声楽部門第3位。96年リッカルド・ザンドナイ国際コンクールおよび第2回F. タリアヴィーニ国際声楽コンクールに入選。藤原歌劇団には、新国立劇場共催「セビリヤの理髪師」バルトロでデビュー以降、「ラ・トラヴィアータ」ドゥフォール、グランヴィル、「ルチア」ライモンド、「マクベス」バンクォー、「イル・カンピエッロ」アンゾレート、「カブレーティ家とモンテッキ家」ロレンツォ、「イタリアのトルコ人」ドン・ジェローニオ、「アルジェのイタリア女」ムスタファ、「ラ・チェネレントラ」マニフィーコ、「アドリアーナ・ルクヴール」ブイヨン公爵、「トスカ」アンジェロッチェ、「ランスへの旅」ドン・プロフォンド、「ラ・ボエーム」コッリーネ、「どろぼうかきさぎ」代官、「愛の妙薬」ドゥルカマーラ、「セビリヤの理髪師」バルトロ、「フィガロの結婚」フィガロ、「ジャンニ・スキッキ」シモーネ等、多数の作品にバスの主要な役で出演し続けている。新国立劇場には、98年開場記念公演「アイダ」のエジプト国王でデビュー以降同役で出演を重ねており、「エウゲニ・オネーギン」「ドン・カルロ」「カルメン」「リゴレット」「トゥーランドット」「ドン・ジョヴァンニ」「ウェルテル」「オテロ」「運命の力」「トスカ」等に出演。また日生劇場、びわ湖ホール等各地で出演の他、NHK-FMなどの収録、リサイタル開催や各種コンサートなど、幅広く活躍している。第5回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。

藤原歌劇団団員。国立音楽大学准教授。千葉県出身。



プロコロ：小野寺 光（バス・バリトン）

Procolo: Hikaru ONODERA (Bass-Baritone)

昭和音楽大学卒業、同大学大学院修了。その後、イタリアのジェノバ音楽院にて研鑽を積む。第3回立石信雄海外研修奨学金、昭和音楽大学下八川圭祐基金、同大学同怜会海外研修奨学金を得て渡伊。第45回イタリア声楽コンクール・ミラノ大賞受賞。2017年イタリア・ストレーザ国際声楽コンクール第1位。14年昭和音楽大学オペラ「夢遊病の娘」のロドルフォ伯爵でデビュー。同学オペラでは、15年「フィガロの結婚」フィガロ、17年「ドン・ジョヴァンニ」レボレッロ、18年「ファルスタッフ」ではタイトルロールを務めている。また、17年イタリア、マルティーナ・フランカのヴァッレ・ディトリア音楽祭にて「ジャンニ・スキッキ」タイトルロール及びシモーネに出演。藤原歌劇団には、帝国ホテル主催・インペリアルオペラ「フィガロの結婚」フィガロ、第1回ベルカントオペラフェスティバル イン ジャパン「フランチェスカ・ダ・リミニ」グイードを経て、19年「ランスへの旅」シドニー卿、21年「フィガロの結婚」フィガロ、「ラ・ボエーム」コッリーネで好演。その他、第84回読売新人演奏会、第38～40回昭和音楽大学「メサイア」のソリストを務めるなど、国内外で活躍を始めている新進バス・バリトン。

藤原歌劇団団員。昭和音楽大学重唱研究員。岩手県出身。

日本オペラ協会公演 日本オペラシリーズ No.85

木下順二 作／團伊玖磨 作曲

「夕鶴」

オペラ全1幕
YUZURU

2023年7月1日（土）・2日（日）テアトロ・ジーリオ・ショウワ【全2回公演】

指揮
Conductor

柴田 真郁
Maiku SHIBATA

演出
Stage Director

岩田達宗
Tatsuji IWATA

つう
Tsu

7/1
佐藤 美枝子
Mieko SATO

7/2
砂川 涼子
Ryoko SUNAKAWA

与ひょう
Yohyo

藤田 卓也
Takuya FUJITA

海道 弘昭
Hiroaki KAIDO

運ず
Unzu

江原 啓之
Hiroyuki EHARA

市川 宥一郎
Yuichiro ICHIKAWA

惣ど
Sodo

下瀬 太郎
Taro SHIMOSE

田中 大揮
Taiki TANAKA

児童合唱：こどもの城合唱団 Children's Castle Chorus

管弦楽：テアトロ・ジーリオ・ショウワ・オーケストラ Orchestra del Teatro Giglio Showa

スタッフ

美術
Scenery Designer

島 次郎
Jiro SHIMA

衣裳
Costume Designer

半田 悦子
Etsuko HANDA

照明
Lighting Designer

原中 治美
Harumi HARANAKA

舞台監督
Stage Manager

菅原 多敢弘
Takahiro SUGAHARA

演出助手
Assistant Stage Director

橋詰 陽子
Yoko HASHIZUME

主催：公益財団法人日本オペラ振興会



指揮：柴田 真郁

Conductor: Maiku SHIBATA

1978 年東京生まれ。国立音楽大学声楽科を卒業後、合唱指揮やアシスタント指揮者として藤原歌劇団、東京室内歌劇場等で研鑽を積む。2003 年に渡欧、ドイツ各地の劇場、オーケストラで研鑽を積みながら、04 年にウィーン国立音楽大学マスターコースでディプロムを取得。ブラハ室内管弦楽団、ベルリン室内管弦楽団等に客演する。05 年、バルセロナのリセウ大歌劇場のアシスタント指揮者オーディションに合格し、ヴァイグレ、ロス＝マルバ、パルンボ、ヴィセント氏等のアシスタントとして、様々な演出家や歌手と上演に携わった。また、10 年には再度渡欧し、イタリアの劇場を中心に研鑽を積んだ。帰国後は主にオペラ指揮者として活動し、2013 年「仮面舞踏会」、18 年マスネ「ナヴェラの娘」(日本初演)、19 年「ラ・ボエーム」、20 年「リゴレット」、21 年「清教徒」をそれぞれ藤原歌劇団と共演。その他、池辺晋一郎「死神」、石井勲「袈裟と盛遠」、プッチーニ「トスカ」、リムスキー＝コルサコフ「サルタン王の物語」等を指揮、好評を博す。22 年には、日生劇場「ランメルモールのルチア」も指揮し、好評を博す。堺シティオペラ、新国立劇場オペラ研修所等でも指揮。しなやかでありながらドラマティックな音楽作りには定評がある。近年では管弦楽にも力を入れており、読響、東響、東京フィル、日本フィル、神奈川フィル、名古屋フィル、日本センチュリー響、大響、群響、広響、兵庫芸術文化センター管等を指揮。指揮を十束尚宏、星出豊、T. レーマン、S.M. コンデの各氏に師事。2010 年度五島記念文化財団オペラ新人賞(指揮)受賞。22 年 4 月大阪交響楽団ミュージックパートナーに就任。



演出：岩田 達宗

Stage Director: Tatsuji IWATA

東京外国語大学フランス語学科卒業。劇団「第三舞台」を経て、舞台監督集団ザ・スタッフに参加し、オペラの舞台製作にかかわる。1991 年より栗山昌良氏に演出助手として師事。五島記念文化財団奨学生として 98 年より欧州各地で研鑽を積む。帰国後、本格的に演出家として活動を始め、新古典主義の作品から現代の日本オペラまで数多くの公演で高い評価を得る。日本オペラ協会では 01 年「キジムナー時を翔ける」でデビュー以降「葵上」「美女と野獣」「天守物語」「よさこい節」「夕鶴」等、藤原歌劇団では 07 年「ラ・ボエーム」で初演出以降「ラ・ジョコンダ」「ルチア」「夢遊病の女」「ラ・トラヴィアータ」「カルメン」「ドン・ジョヴァンニ」を手掛け、独創的で卓抜なアイデアによる舞台造りは聴衆を魅了し続けている。リモートによる講義「岩田達宗道場」が開講されるなど、現在日本を代表するオペラ演出家の一人である。07 年よりいづみホール・オペラのプロデューサー、21 年よりひろしまオペラ・ネッサンスの芸術監督を務めている。

第 7 回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。06 年度音楽クリティック・クラブ賞受賞。大阪音楽大学客員教授。昭和音楽大学講師。兵庫県出身。



つう：佐藤 美枝子 (ソプラノ)

Tsu: Mieko SATO (Soprano)

武蔵野音楽大学卒業。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第 9 期生修了後、ローマに留学。1997～99 年五島記念文化財団の奨学生として引き続きローマで研鑽を積む。第 30 回日伊声楽コンクール第 2 位。第 64 回日本音楽コンクール第 1 位、同時に増沢賞、海外派遣特別賞受賞。第 11 回チャイコフスキー国際音楽コンクール第 1 位。95 年ローマにて「リゴレット」のジルダでデビュー。イタリアで研鑽の傍ら日本でも演奏活動を行い、99 年新国立劇場に「カルメン」のミカエラでデビュー。藤原歌劇団には、2000 年「ルチア」のタイトルロールでデビューを飾り、以降「カプレーティ家とモンテッキ家」「イタリアのトルコ人」「ラ・トラヴィアータ」「ランスへの旅」「ラ・ボエーム」「リゴレット」「カルメル会修道女の対話」「オリイ伯爵」「ドン・パスクワレ」等で成功を収めている。日本オペラ協会には「美女と野獣」「天守物語」「春琴抄」「よさこい節」「夕鶴」でいずれも好評を博し、日本を代表するソプラノとして華々しく活躍している。23 年 2 月には「源氏物語」の六条御息所出演を予定している。第 7 回五島記念文化賞オペラ新人賞、第 9 回出光音楽賞、第 10 回新日鐵音楽賞フレッシュアーティスト賞、第 2 回ロシヤ歌曲賞、第 3 回下総皖一音楽賞受賞。第 50 回 ENEOS 音楽賞(旧モービル音楽賞)洋楽部門本賞受賞。

日本オペラ協会会員。藤原歌劇団団員。武蔵野音楽大学准教授。大分県立芸術文化短期大学客員教授。大分県出身。



つう：砂川 涼子（ソプラノ）

Tsu: Ryoko SUNAKAWA (Soprano)

武蔵野音楽大学卒業、同大学大学院修了。2001 年より第 10 回（財）江副育英会オペラ奨学生として、05 年より五島記念文化財団の奨学生として渡伊。第 34 回日伊声楽コンクール優勝。第 69 回日本音楽コンクール第 1 位。第 12 回リッカルド・ザンドナイ国際声楽コンクールでザンドナイ賞受賞。2000 年新国立劇場小劇場オペラ「オルフェオとエウリディーチェ」で本格的デビュー。イタリアで研鑽を積みながら、01 年藤原歌劇団に「イル・カンピエッロ」のガスパリーナでデビュー。新国立劇場「トゥーランドット」リユー、「ドン・ジョヴァンニ」ゼルリーナ、「ドン・カルロ」天よりの声と出演を重ね、同劇場「カルメン」「魔笛」「ホフマン物語」「夜叉ケ池」「ウェルテル」「ジャンニ・スキッキ」等、容姿・実力を兼ね備えた歌唱は常に高い評価を得ている。藤原歌劇団には、「ランスへの旅」コリンナ、「ラ・ボエーム」ミミ、「フィガロの結婚」伯爵夫人、「道化師」ネッダ、「ラ・トラヴィアータ」ヴィオレッタ等に出演し、常に絶賛されている。日本オペラ協会には、「キジムナー時を翔ける」カルカリナで初登場している。23 年 2 月には「源氏物語」の六条御息所出演を予定している。オペラ夏の祭典 2019-20 Japan⇔Tokyo⇔World、20 年グランドオペラ共同制作において「トゥーランドット」のリユーで出演し好評を得た。その他、FM 名曲リサイタル、NHK ニューイヤーオペラコンサートなど、各種演奏会で活躍を続けている。CD「砂川涼子／ベルカント」好評発売中。第 16 回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。藤原歌劇団団員。武蔵野音楽大学非常勤講師。沖縄県出身。



与ひょう：藤田 卓也（テノール）

Yohyo: Takuya FUJITA (Tenor)

島根大学卒業、同大学大学院修了。エンミー・デスティン創設音楽コンクール 2004 第 2 位。第 40 回アントニン・ドヴォルザーク国際声楽コンクール・オペラ部門第 2 位等多数受賞。ウィーン留学中、スロヴァキアのコシツェ国立歌劇場「ラ・トラヴィアータ」アルフレード、バンスカー・ピストリツァ国立歌劇場「ラ・ボエーム」ロドルフォに出演し注目を集め、ウィーン室内歌劇場、シェーンブルン宮殿劇場でのオペラ公演、またチェコやポーランドでの国際音楽祭に出演し、成功を収めた。藤原歌劇団には、14 年下関において創立 80 周年記念公演「藤原義江記念コンサート」の出演を経て、15 年「仮面舞踏会」のリッカルドでデビュー以降、「ドン・パスクワレ」エルネスト、「カルメン」ドン・ホセ、「ノルマ」ボッリオーネ、「道化師」カニオ、「蝶々夫人」ピンカートン、「ラ・ボエーム」ロドルフォなど、プリモテノールの役でいずれも高い評価を得ている。23 年 1 月には「トスカ」カヴァラドッシで出演を予定している。日本オペラ協会には今回が初登場となる。その他、16 年ベルガモの聖ジョヴァンニ・ボスコ劇場「清教徒」のアルトゥーロでイタリアデビュー。国内でも、日生劇場「トスカ」カヴァラドッシなどのオペラや、山口、広島をはじめ各地でオペラ、コンサートに出演し活躍を続けている。平成 20 年度山口県芸術文化振興奨励賞受賞。平成 25 年度エネルギー音楽賞受賞。平成 28 年長門市子ども教育夢基金奨励賞。

藤原歌劇団団員。大阪音楽大学特任准教授。くらしき作陽大学非常勤講師。山口県出身。<http://fdinc.jp/fujitatakuya.html>



与ひょう：海道 弘昭（テノール）

Yohyo: Hiroaki KAIDO (Tenor)

国立音楽大学卒業。2012 年 NPO 事業によりイタリアへ 2 年間留学。どみそグループ専属歌手、NPO 事業演奏研究員。2015 年、サントリーホール等にて動員総数 4,000 名のデビューリサイタルを成功。TV 番組「みんなの音楽会 TV」にレギュラー出演し、L. スッチャ世界的歌手との対談や共演が話題を呼んだ。第 46 回イタリア声楽コンクール・シエナ大賞受賞。第 1 回 V. テッラーノヴァ国際声楽コンクール優勝。日本オペラ協会では、2020 年「紅天女」仏師・一真で大成功を収め、以降 21 年「キジムナー時を翔ける」マサキ、22 年「ミスター・シンデレラ」伊集院正男で連続出演しており、高い評価を得ている。23 年 2 月には「源氏物語」の頭中将で出演を予定している。藤原歌劇団には、21 年「ジャンニ・スキッキ」リヌッチョ、22 年「イル・カンピエッロ」ゾルゼートで出演。キングレコード収録「ベルカントの女王」世界的ソプラノ歌手 M. デヴィーアとの共演オペラアリア集を自身 3 枚目の CD としてリリース。BS12 トゥエルビ「童謡コーラス♪名曲大合唱～今は一人で、みんなと歌えるその日まで～」(毎週：日曜夕方 4 時放送)にて、全国放送 BS 番組のレギュラー出演で活躍の場を広げている。

日本オペラ協会会員。藤原歌劇団団員。埼玉県出身。

藤原歌劇団公演（共催：新国立劇場・東京二期会）

G.ヴェルディ作曲

「二人のフォスカリ」 オペラ全3幕

I DUE FOSCARI

2023年9月9日（土）・10日（日）新国立劇場オペラパレス【全2回公演】

指揮 Conductor 田中 祐子
Yuko TANAKA

演出 Stage Director 伊香 修吾
Shugo IKO

	9/9	9/10
フランチェスコ・フォスカリ Francesco Foscari	須藤 慎吾 Shingo SUDO	上江 隼人 Hayato KAMIE
ヤコポ・フォスカリ Jacopo Foscari	藤田 卓也 Takuya FUJITA	海道 弘昭 Hiroaki KAIDO
ルクレツィア・コンタリーニ Lucrezia Contarini	佐藤 亜希子 Akiko SATO	西本 真子 Mako NISHIMOTO
ヤコポ・ロレダーノ Jacopo Loredano	田中 大揮 Taiki TANAKA	杉尾 真吾 Shingo SUGIO
バルバリーゴ Barbarigo	及川 尚志 Takashi OIKAWA	黄木 透 Toru OKI
ピザーナ Pisana	中桐 かなえ Kanae NAKAGIRI	加藤 美帆 Miho KATO

合唱：藤原歌劇団合唱部／新国立劇場合唱団／二期会合唱団
Fujiwara Opera Chorus Group / New National Theatre Chorus / Nikikai Chorus Group

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団 Tokyo Philharmonic Orchestra

スタッフ

美術 Scenery Designer	二村 周作 Shusaku FUTAMURA
衣裳 Costume Designer	十川 ヒロコ Hiroko SOGAWA
照明 Lighting Designer	齋藤 茂男 Shigeo SAITO
舞台監督 Stage Manager	菅原 多敢弘 Takahiro SUGAHARA
演出助手 Assistant Stage Director	手塚 優子 Yuko TEZUKA

主催：公益財団法人日本オペラ振興会

共催：公益財団法人新国立劇場運営財団／公益財団法人東京二期会



指揮：田中 祐子

Conductor: Yuko TANAKA

平成 30 年度（第 29 回）五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。受賞に伴い 2019 年 3 月末より 1 年間の海外研修。フランスのボルドー、リヨンを経て、パリにおいてエコールノルマル音楽院のオーケストラ指揮科・高等ディプロム課程で D. ルイス、J. マスモンデの各氏に師事。2020 年度ローム ミュージック ファンデーション奨学生。パリにて更なる研鑽と演奏活動を継続する。東京藝術大学大学院指揮科修士課程首席修了。指揮を尾高忠明、広上淳一、高関健、汐澤安彦の各氏に師事。2012 年より渡独し主にベルリンとミュンヘンにて研鑽を積む。東京国際コンクール「指揮」入選、プザンソン国際指揮者コンクール、ショルティ国際指揮者コンクールのセミファイナリスト。2013 年クロアチア国立歌劇場リエカ管弦楽団に招かれ海外デビュー。これまでに、全国各地のオーケストラと共演を重ねる。日生劇場、東京室内歌劇場、日本オペラ振興会等都内のオペラ団体に副指揮、プロンプターとしてオペラ研鑽を積み、2015 年藤原歌劇団公演「ラ・トラヴィアータ」でオペラデビュー、2017 年日本オペラ協会公演「よさこい節」（於：新国立劇場）、2018 年名古屋二期会公演「ちゃんちき」、2019 年日本オペラ協会公演創立 60 周年記念公演「静と義経」に登壇するなど、オペラ指揮者としても着実に実績を挙げている。2015-16-17 年シーズン NHK 交響楽団首席指揮者 P. ヤルヴィ公式アシスタント。その間、同団において C. デュトワ、C. エッセンバッハ、M. ヤノフスキをはじめ数々の公演のアシスタントおよび合唱指揮を担当。チョン・ミョンフン指揮東京フィル公演の合唱指揮も担当した。2018 年～2020 年オーケストラ・アンサンブル金沢指揮者。NHK-E テレ「らららクラシック」や NHK-FM「名曲アルバム」、日テレ「読響シンフォニックライブ」、テレ朝「題名のない音楽会」等、メディア出演多数。



演出：伊香 修吾

Stage Director: Shugo IKOH

東京大学経済学部卒業。東京大学大学院経済学研究科修士課程、英国ミドルセックス大学 大学院舞台演出科修士課程修了。ザルツブルク音楽祭、ウィーン国立歌劇場、ウィーン・フォルクスオーパー、英国ロイヤルオペラ、ロッシーニ・オペラ・フェスティバルなどで研鑽を積む。近年手がけた作品に『ラ・ボエーム』（日生劇場、2017 年版と 2021 年版）、『ドン・ジョヴァンニ』『つばめ』『バルジファル』（びわ湖ホール）などがあり、2014 年にはリトアニアのカウナス国立劇場で権代敦彦作曲のオペラ『桜の記憶』の世界初演を演出した。また、2011 年に演出した「オペラ@能楽堂」（セルリアンタワー能楽堂）がパリ、ジュネーブ、チューリッヒ、ローザンヌで上演される一方、音楽・能による「KOCHO/ 胡蝶」（東京藝術大学音楽学部音楽創造・研究センター / 東京藝術大学アトリエゾンセンター）を脚色・演出するなど、他ジャンルとのコラボレーションにも積極的に取り組んでいる。第 19 回（平成 20 年度）五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。日米リーダーシップ・プログラムスコット・M・ジョンソンフェロー。藤原歌劇団には今回が初登場となる。



フランチェスコ・フォスカリ：須藤 慎吾（バリトン）

Francesco Foscari: Shingo SUDO (Baritone)

国立音楽大学卒業、同大学大学院修了。1999～06 年渡伊。第 10 回オルヴィエート国際オペラコンクール第 2 位。第 37 回イタリア声楽コンクール・シエナ大賞受賞。第 42 回日伊声楽コンクール第 1 位、同時に歌曲賞受賞。伯田好史、故・田島好一、L. サッコマニの各氏に師事。国立音楽大学大学院オペラ「ドン・ジョヴァンニ」のタイトルロールでデビュー。7 年間の在伊中、イタリア各地の劇場で数多くのオペラに出演。藤原歌劇団には、08 年「ラ・ボエーム」のマルチェッロで出演以降、「愛の妙薬」ベルコーレ、「ルチア」エンリーコ、「フィガロの結婚」アルマヴィーヴァ伯爵、「ラ・トラヴィアータ」ジェルモン、「トスカ」スカルピア、「カルメン」エスカミーリョ、「道化師」トニオ、「リゴレット」タイトルロール、「イル・トロヴァトーレ」ルーナ伯爵に出演し、いずれも好評を博している。23 年 1 月「トスカ」の同役で出演を予定している。近年では新国立劇場でも活躍しており、「蝶々夫人」「椿姫」「ルチア」等のプリモ・バリトンに抜擢され高評を得るほか、日生劇場「フィデリオ」ドン・ピツァロ、「トスカ」スカルピア、「カプレーティ家とモンテッキ家」ロレンツォ、まつもと市民オペラ「ちゃんちき」狐のおとっさまで出演。また、「第九」「カルミナ・ブラーナ」等のソリストや、NHK ニューイヤーオペラコンサートなど多数出演している。

藤原歌劇団団員。国立音楽大学非常勤講師。和歌山県出身。<https://operanaut.com>



フランチェスコ・フォスカリ：上江 隼人（バリトン）

Francesco Foscari: Hayato KAMIE (Baritone)

東京藝術大学卒業、同大学大学院修了。2005年に第34回（財）江副育英会オペラ奨学生として、2008年に明治田クリオティフ財団の奨学生として渡伊。2006年ディマロの“Val di sole”イタリア音楽コンクール優勝。2011年ヴェルディ・フェスティバル（パルマ王立歌劇場主催）「イル・トロヴァトーレ」のルーナ伯爵で国際的評価を得た。国内では、二期会公演「ナブッコ」「道化師」「ドン・カルロ」「リゴレット」で次々と主役を演じ、また同年にはイタリア・ヴェルディ・フェスティバルでも「リゴレット」を演じて大成功を収めた。新国立劇場「アンドレア・シェニエ」ルーシェ、NISSAY OPERA 2016「セビリアの理髪師」フィガロ、新国立劇場開場20周年記念特別公演「アイダ」アモナズロ、2018年二期会公演〈三部作〉より「外套」ミケーレ／「ジャンニ・スキッキ」タイトルロール、グラントオペラ共同制作「アイダ」アモナズロで出演。その他、NHK ニューイヤーオペラコンサートに連続出演するなど人気を高めている。

2019年藤原歌劇団に移籍。当団では、19年「ラ・トラヴィアータ」ジェルモン、「ランスへの旅」ドン・アルヴァーロ、20年「リゴレット」タイトルロール、21年「ラ・ボエーム」マルチェッロ、22年「イル・トロヴァトーレ」ルーナ伯爵で出演している。国内外で高い評価を得ているバリトンの逸材として、注目を集めている。第24回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。

藤原歌劇団団員。千葉県出身。https://www.hayatokamie.com

ヤコポ・フォスカリ：藤田 卓也（テノール） *8頁参照

ヤコポ・フォスカリ：海道 弘昭（テノール） *8頁参照



ルクレツィア・コンタリーニ：佐藤 亜希子（ソプラノ）

Lucrezia Contarini: Akiko SATO (Soprano)

洗足学園音楽大学卒業、同大学専攻科修了。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第14期生修了。2006年度文化庁新進芸術家海外留学制度研修員として渡伊。第3回ジュリオ・ネッリ国際声楽コンクール入賞。故・大里洋子、中山早智恵、ヨウコ タケダ、E. オブラスツォワ、南條年章の各氏に師事。藤原歌劇団には、04年「イル・カンピエッロ」のルシエータでデビュー後、「蝶々夫人」ケイト、「ランスへの旅」デリア、「ラ・トラヴィアータ」フローラ、「アドリアーナ・ルクヴルール」ジュヴノ、「カルメル会修道女の対話」ブランシュ、「ラ・トラヴィアータ」ヴィオレッタ、「ファルスタッフ」アリーチェ、「ドン・ジョヴァンニ」ドンナ・エルヴィーラで出演している。海外では09年イタリア・キエーティのマッルチーノ劇場にてローマ歌劇場の共同制作「トゥーランドット」のリュエでイタリアデビューを果たし、大成功を収めた。その他、日本フィルハーモニー交響楽団、熊川哲也Kバレエカンパニー公演「第九」、群馬交響楽団「ヨハネ受難曲」、東京フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団の主催コンサートや、各大使館や企業などの各種コンサートでも幅広く活躍。日本歌曲「落葉松」を歌ったダイキン興行のCMも放映されている。10年には南條年章オペラ研究室主催で初のソロリサイタルを開いた。役に対する真摯な姿勢と舞台栄えする容姿で、好評を得ている。

藤原歌劇団団員。洗足学園音楽大学講師。神奈川県出身。



ルクレツィア・コンタリーニ：西本 真子（ソプラノ）

Lucrezia Contarini: Mako NISHIMOTO (Soprano)

武蔵野音楽大学卒業、同大学大学院修了。第56回全日本学生音楽コンクール声楽部門グランプリ受賞、同時に都築音楽賞、日本放送協会賞を受賞。永田文子、菊池英美、福原久美、E. オブラスツォワ、G. ヴィーギ、A. ボッティオン、横山修司、M. レアーレの各氏に師事。2012年フィリピン国立劇場及び13年シンガポールリリックオペラにて「蝶々夫人」タイトルロールで国際デビューし、日本国内のみならずアジアを中心に活躍。国内では、「ラ・トラヴィアータ」「ラ・ボエーム」「外套」「修道女アンジェリカ」「トスカ」「イル・トロヴァトーレ」「仮面舞踏会」「ナブッコ」「マクベス」「道化師」「友人フリッツ」「カルメン」「ティレジアスの乳房」等幅広いレパートリーを持ち、数多くの舞台で主演を務めている。藤原歌劇団には、18年「ナヴァラの娘」（日本初演）アニタでデビューし、21年「フィガロの結婚」伯爵夫人、22年「イル・トロヴァトーレ」レオノーラで出演。日本オペラ協会には、21年「キジムナー時を翔ける」のミキで初登場。その他、17年ウィーン楽友協会にて、国境なき合唱団10周年記念特別公演「第九」のソリストを務めヨーロッパデビューするなど、活躍の場を広げている注目のソプラノ。

藤原歌劇団団員。日本オペラ協会会員。練馬区演奏家協会会員。静岡県出身。

藤原歌劇団公演

C. グノー作曲

「ファウスト」 オペラ全5幕
FAUST

2024年1月27日（土）・28日（日）東京上野【全2回公演】

2月3日（土）日本特殊陶業市民会館 ビレッジホール【全1回公演】

指揮 阿部 加奈子
Conductor Kanako ABE

演出 ダヴィデ・ガラッティニー・ライモンディ
Stage Director Davide Garattini RAIMONDI

ファウスト Faust	1/27 & 2/3 笛田 博昭 Hiroaki FUEDA	1/28 澤崎 一了 Kazuaki SAWASAKI
メフィストフェレス Méphistophélès	アレッシオ・カッチャマーニ Alessio CACCIAMANI	伊藤 貴之 Takayuki ITO
マルグリート Marguerite	砂川 涼子 Ryoko SUNAKAWA	迫田 美帆 Miho SAKODA
ヴァランタン Valentin	岡 昭宏 Akihiro OKA	井出 壮志朗 Soshiro IDE
ジーベル Siébel	向野 由美子 Yumiko KONO	但馬 由香 Yuka TAJIMA
ヴァグネル Wagner	大槻 聡之介 Sonosuke OTSUKI	高橋 宏典 Kosuke TAKAHASHI
マルト Marthe Schwerlein	山川 真奈 Mana YAMAKAWA	北薊 彩佳 Saika KITAZONO

合唱：藤原歌劇団合唱部 Fujiwara Opera Chorus Group

管弦楽：〔東京公演〕東京フィルハーモニー交響楽団 [TOKYO]Tokyo Philharmonic Orchestra

〔愛知公演〕セントラル愛知交響楽団 [AICHI]Central Aichi Symphony Orchestra

スタッフ

美術・衣裳 Scenery & Costume Designer	ドメニコ・フランキ Domenico FRANCHI
照明 Lighting Designer	西田 俊郎 Toshiro NISHIDA
舞台監督 Stage Maneger	菅原多敢弘 Takahiro SUGAHARA
演出助手 Assistant Stage Director	橋詰 陽子 Yoko HASHIZUME



指揮：阿部 加奈子

Conductor: Kanako ABE

オランダ在住。東京藝術大学音楽学部作曲科を経て、パリ国立高等音楽院にて作曲に関連する 6 つの課程とともに日本人として初めて同音楽院指揮科で学ぶ。これまでに作曲を永富正之、管弦楽法をマルク＝アンドレ・ダルバヴィ、楽曲分析をミカエル・レヴィナス、ピアノと伴奏法をジャン・ケルネル、指揮をジョルト・ナジ、ヤーノシュ・フルスト、ファビオ・ルイーゼ、エティエンヌ・シーベンスなどに師事。パリ国立高等音楽院在学中より、ヨーロッパを活動の拠点に、指揮者、ピアニスト、作曲家として多方面で活躍する。2005 年に現代音楽アンサンブル「ミュルチラテラル」を創設、2014 年まで音楽監督を務める。

また、その間にチューリッヒ歌劇場やモンペリエ国立歌劇場でファビオ・ルイーゼ、エンリケ・マツォーラ、ロレンス・フォスター等のアシスタントを務める。これまでにギャルド・レピュブリケ管弦楽団、モンペリエ国立管弦楽団、ロレーヌ国立管弦楽団、ジュネーヴ室内管弦楽団など、日本国内では東京フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、広島交響楽団などと共演している。2022 年 7 月には、ブシュラ・エル＝トゥルクの新作オペラ「Woman at Point Zero」の世界初演でエクサン・プロヴァンス音楽祭にデビュー、2023 年 6 月には同演目にてコヴェントガーデン王立歌劇場へのデビューが決まっている。現在、フランス・ドーム交響楽団音楽監督、Tokyo Ensamble Factory のミュージック・パートナー、日仏現代音楽協会代表を務める。今回は藤原歌劇団に初登場となる。<https://www.kanakoabe.com/jp/>



演出：ダヴィデ・ガラッティニ・ライモンディ

Stage Director: Davide Garattini RAIMONDI

ミラノのブレラ美術アカデミーで舞台美術の学位取得後、舞台美術家及び演出助手として活動を続けた。2011 年、「セビリヤの理髪師」の舞台美術と衣裳でスピロス賞を受賞。その翌年、「愛の妙薬」を演出。これらの活躍により、ブラジルのサンピエトロ劇場に招聘され、「ラ・チェネレントラ」の演出、舞台美術、並びに衣裳デザインを担当。ヨーロッパに戻ってからは、ブレスシアにて「ジャンニ・スキッキ」でフィリッポ・シオンバネック賞受賞。パレルモにて G. マルティーニ作曲の幕間喜劇「カナリア諸島の劇場支配人」の演出、舞台美術、衣裳を担当。15 年、フリウリ＝ヴェネツィア・ジュリア自治州のピッコロ・フェスティバル「ドン・ジョヴァンニ」、トレンティーノ＝アルト・アディジェ州のカルデス城「リタ」、サルザーナ・オペラ・フェスティバル「ジャンニ・スキッキ」（スピロス・アルギリス賞受賞）など多くの作品の演出を務めた。2016 年、ロッシーニとバイジェッロによる 2 つの「セビリヤの理髪師」、ベルガモでデビューした「リタ」、マルティーナ・フランカでバイジェッロ「ドン・キホーテ」、「修道女アンジェリカ」、ヘンデル「オランダ」、レッツェにて「ラ・ボエーム」など多くの公演で高い評価を得ている。また、子供向けのオペラにも力を入れており、ブレスシアのテアトロ・グランデでアッピアーティ賞を受賞している。

キャリア劇場にて行われたアントーニョ・カルロス・ゴメス作曲オペラ「ロ・スキアーヴォ（奴隷）」の DVD が Dynamic レーベルより発売中。今回は初来日となる。



ファウスト：笛田 博昭（テノール）

Faust: Hiroaki FUEDA (Tenor)

名古屋芸術大学卒業、同大学大学院修了。第 37 回イタリア声楽コンクール・イタリア大使杯を受賞。第 9 回マダム・バタフライ世界コンクール第 1 位。2009 年五島記念文化賞オペラ新人賞を受賞し渡伊。11 年文化庁新進芸術家海外研修員として再渡伊。12 年フェッラーラ国際コンクール第 1 位。第 50 回日伊声楽コンクール第 1 位及び五十嵐喜芳賞・歌曲賞受賞。中島基晴、L.ヴァスタの各氏に師事。03 年、名古屋芸術大学特別公演「トゥーランドット」のカラフでデビュー。藤原歌劇団には、07 年「ラ・ボエーム」のロドルフォでデビュー以降、「仮面舞踏会」リッカルド、「蝶々夫人」ピンカートン、「トスカ」カヴァラドッシ、

「カルメン」ドン・ホセ、「ノルマ」ポッリオーネ、「道化師」カニオ、「リゴレット」マントヴァ公爵、「イル・トロヴァトーレ」マンリーコなど、当団のプリモテノールとして活躍を続けている。2 度目の留学中、フェッラーラ国際コンクール優勝により、同市立劇場「イル・トロヴァトーレ」同役でイタリアデビュー。その他、NHK-FM「名曲リサイタル」、NHK ニューイヤーオペラコンサート、NHK ナゴヤニューイヤーコンサート、ヴァチカン国際音楽祭での枢機卿の音楽ミサ、K-BALLET や東京フィルの「第九」など各種コンサートに出演。人気実力ともに今最も注目されているテノール。08 年愛知県芸術文化選奨文化新人賞受賞。第 20 回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。湯沢町特別観光大使。

藤原歌劇団団員。新潟県出身。



ファウスト：澤崎 一了（テノール）

Faust: Kazuaki SAWASAKI (Tenor)

国立音楽大学卒業。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第 27 期生修了。第 30 回ソレイユ音楽コンクールにて第 2 位及び優秀賞受賞。第 53 回日伊声楽コンクール第 2 位及び五十嵐喜芳賞受賞。第 2 回 V. テッラノーヴァ国際声楽コンクール第 1 位。藤原歌劇団には、2016 年「トスカ」のスポレッタでデビュー以降、18 年「道化師」ペッペ、19 年「ラ・トラヴィアータ」アルフレード、20 年「カルメン」ドン・ホセ、21 年・22 年「蝶々夫人」ピンカートン、21 年「清教徒」アルトゥーロで高い評価を得ている。23 年 1 月「トスカ」ではカヴァラドッシで出演を予定している。その他、これまでに「リゴレット」マントヴァ公爵、「連隊の娘」トニオ、「愛の妙薬」ネモリーノ、「カヴァレリア・ルスティカーナ」トゥリッドゥ、「コジ・ファン・トゥッテ」フェランド、「秘密の結婚」パオリーノ、「こうもり」アイゼンシュタイン及びアルフレード、「夕鶴」与ひょう等、様々なオペラに出演している。15 年ビントでのトラエッタ・オペラフェスティバル「蝶々夫人」ピンカートンにてイタリアデビュー。平成 27 年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業「ラ・ボエーム」に抜擢され、ロドルフォを好演。その他、ヴェルディ及びモーツァルトの「レクイエム」や「第九」「メサイア」、天皇陛下御即位二十年奉祝曲「太陽の光」を歌うなど、多岐に渡り活躍をしている新進テノール。

藤原歌劇団団員。立教池袋中学・高等学校講師。神奈川県出身。



メフィストフェレス：伊藤 貴之（バス）

Méphistophélès: Takayuki ITO (Bass)

名古屋芸術大学卒業、同大学大学院修了。2013～14 年 NPO 法人イエロー・エンジェルの奨学金を受け渡伊。第 48 回日伊声楽コンクール第 2 位。第 41 回イタリア声楽コンクール金賞受賞。第 6 回 G. ゼッカ国際声楽コンクール第 2 位。澤脇達晴、中島基晴、L. ヴァスタ、E. フォリアーティの各氏に師事。藤原歌劇団には、13 年「仮面舞踏会」のトムでデビュー以降、「ラ・ボエーム」コッリーネ、「ファルスタッフ」ピストーラ、「ランスへの旅」シドニー卿、「カルメン」スニガ、「ノルマ」オロヴェージュ、「ルチア」ライモンド、「ラ・チェネレントラ」アリドーロ、「リゴレット」スバラフチーレ、「清教徒」ジョルジョ等、バスの主要な役で活躍を続けている。には、「サロメ」兵士 2、「オテロ」モンターノ、「カルメン」スニガ、「ウェルテル」大法官、「ルチア」ライモンドその他、新国立劇場、日生劇場、関西二期会、藤沢市民オペラ、びわ湖ホール等の各公演でいずれも高い評価を得ている。また、セイジ・オザワ松本フェスティバルにて、小澤征爾指揮の「第九」にバスソロとして出演。東京フィル定期公演では、チョン・ミョンフン指揮の「カルメン」にスニガで出演。A. ゼツダ指揮「スターバト・マーテル」ではバスソロで出演して NHK-BS で放送された他、「題名のない音楽会」や NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」にも出演。その他にヴェルディ及びモーツァルトの「レクイエム」、ベートーヴェン「ミサ・ソレムニス」等のソリストとしても活躍している。平成 24 年度愛知県芸術文化選奨文化新人賞受賞。平成 28 年度としん育英財団教育文化奨励賞受賞。平成 29 年度豊田市文化振興財団豊田文化奨励賞受賞。

藤原歌劇団団員。愛知県出身。

マルグリート：砂川 涼子（ソプラノ）

Marguerite: Ryoko SUNAKAWA (Soprano)

*8 頁参照



マルグリート：迫田 美帆（ソプラノ）

Marguerite: Miho SAKODA (Soprano)

東京藝術大学卒業。卒業後、ローマやパドヴァなどイタリア各地で研鑽を積む。2015 年、サントリーホール オペラ・アカデミー プリマヴェーラ・コース第 2 期を最優秀の成績で修了。17 年、同アドバンスト・コース第 2 期修了。第 50 回日伊声楽コンクール入選。第 13 回東京音楽コンクール声楽部門第 2 位。第 86 回日本音楽コンクール声楽部門入選。中畑和子、直野資、M. ザンピエーリ、G. サッパティーニの各氏に師事。これまでに、「ドン・ジョヴァンニ」ドンナ・エルヴィーラ、「愛の妙薬」アディーナ、「リゴレット」ジルダ、「イル・トロヴァトーレ」レオノーラなどで出演。また、19 年にはサントリーホール オペラ・アカデミー公演「フィガロの結婚」伯爵夫人で出演。藤原歌劇団には、19 年「蝶々夫人」のタイトルロールで鮮烈なデビューを飾って高評を博し、以降「イル・カンピエッロ」ルシエータ、「コジ・ファン・トゥッテ」フィオルディリージなど、常に好評を得ている。その他、フォーレ「レクイエム」、東京フィル「第九」、G. サッパティーニ指揮／ロッシーニ「小荘厳ミサ曲」のソプラノソロを務めるなど、各種コンサートでも活躍している。いずれも磨かれたテクニックと深い解釈に裏づけされた、安定したのびやかな歌唱が高く評価されている。

藤原歌劇団団員。東京都出身。

日本オペラ協会公演 日本オペラシリーズ No.86
倉本 聡 原作／渡辺俊幸 作曲／吉田雄生 オペラ脚本

新作初演
ニュープロダクション（新制作）

「ニングル」
NINGURU

2024 年 2 月 10 日（土）・11 日（日）・12 日（月祝）めぐろパーシモンホール【全 3 回公演】

指揮 Conductor	田中 祐子 Yuko TANAKA	
演出 Stage Director	岩田 達宗 Tatsuji IWATA	
	2/10 & 12	2/11
勇太 Yuta	須藤 慎吾 Shingo SUDO	村松 恒矢 Koya MURAMATSU
オ三 Saizo	海道 弘昭 Hiroaki KAIDO	渡辺 康 Yasushi WATANABE
ミクリ Mikuri	別府 美沙子 Misako BEPPU	相楽 和子 Kazuko SAGARA
スカンポ Sukampo	中桐 かなえ Kanae NAKAGIRI	井上 華那 Kana INOUE
光介 Kosuke	杉尾 真吾 Shingo SUGIO	和下田 大典 Daisuke WAGETA
信次 Shinji	黄木 透 Toru OKI	勝又 康介 Kosuke KATSUMATA
民吉 Tamikichi	久保田 真澄 Masumi KUBOTA	泉 良平 Ryohei IZUMI
かつら Katsura	佐藤 美枝子 Mieko SATO	光岡 暁恵 Akie MITSUOKA
ニングルの長 Older of Ninguru	江原 啓之 Hiroyuki EHARA	山田 大智 Taichi YAMADA
かや Kaya	丸尾 有香 Yuka MARUO	長島 由佳 Yuka NAGASHIMA

合唱：日本オペラ協会合唱団 Nihon Opera Kyokai Chorus Group

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団 Tokyo Philharmonic Orchestra

スタッフ

美術 Scenery Designer	松生 紘子 Hiroko MATSUO
衣裳 Costume Designer	下斗米 大輔 Daisuke SHIMOTOMAI
照明 Lighting Designer	大島 祐夫 Masao OSHIMA
舞台監督 Stage Maneger	菅原 多敢弘 Takahiro SUGAHARA
演出助手 Assistant Stage Director	喜田 健司 Kenji KITA

主催：公益財団法人日本オペラ振興会
共催：めぐろパーシモンホール

指揮：田中 祐子

Conductor: Yuko TANAKA

*10 頁参照

演出：岩田 達宗

Stage Director: Tatsuji IWATA

*7 頁参照

勇太：須藤 慎吾（バリトン）

Yuta: Shingo SUDO (Baritone)

*10 頁参照



勇太：村松 恒矢（バリトン）

Yuta: Koya MURAMATSU (Baritone)

国立音楽大学卒業、同大学大学院修了。大学卒業時に矢田部賞受賞。新国立劇場オペラ研修所第 14 期修了。2018 年度文化庁新進芸術家海外研修制度研修生として渡伊。イタリアのボローニャ市立劇場オペラ研修所、オランダのアムステルダム・ミュージックシアターオペラ研修所のマスタークラス等でも研鑽を積んだ。角田和弘、小林一男、モチェオ久美、A. ガザーレの各氏に師事。これまでに「ドン・ジョヴァンニ」タイトルロール、「魔笛」パパゲーノ、「愛の妙薬」ペルコーレ、「スペインの時」ラミーロ、「ラ・ボエーム」ショナール、「電話」ベン等に出演。日本オペラ協会には、17 年「ミスター・シンデレラ」の垣内教授でデビューし、22 年にも同役で出演。21 年「魅惑の美女はデスゴッデス! (死神)」の早川で出演している。藤原歌劇団には、21 年「蝶々夫人」のヤマドリでデビュー。その他、トウキョウ・モーツァルトプレーヤーズ、オーケストラ・アンサンブル金沢、パシフィック・ミュージック・フェスティバル等の公演にソリストとして出演し、沼尻竜典、秋山和慶、G. サッパティエーニの各氏らと共演。「第九」、フォーレ「レクイエム」等のソリストとしても活躍している。

日本オペラ協会会員。藤原歌劇団団員。東京都出身。

才三：海道 弘昭（テノール）

Saizo: Hiroaki KAIDO (Tenor)

*8 頁参照



才三：渡辺 康（テノール）

Saizo: Yasushi WATANABE (Tenor)

国立音楽大学卒業。イタリア国立バルマ音楽院修了。2007 年から 10 年間イタリアにて研鑽を積む。高木鳩子、小林一男の各氏に師事。第 1 回カッファレリ国際オペラコンクール第 3 位。第 47 回イタリア声楽コンクールにてテノール特賞受賞。イタリア留学中に様々なオペラやコンサートに出演。ボローニャ歌劇場にてミスリヴェチェ作曲「オリンピアデ」のクリステネでボローニャ歌劇場にデビュー。以降、同劇場にて「ドン・パスクワレ」エルネスト、マントヴァ・ビビエナ劇場「秘密の結婚」パオリノ、アウディトリオ・デ・テネリフェにて「コジ・ファン・トゥッテ」フェランド、パルマ王立劇場にて「結婚手形」エドアルド・

ミルフォート、ボローニャ歌劇場にて「ドン・パスクワレ」同役、ルッカ及びピサ及びリヴォルノの各劇場で「メリー・ウィドー」カミーユ、マルティーナ・フランカのヴァッレ・デイトリア音楽祭「バックナーリ」エルガスト等、多数作品に出演している。帰国後、19 年藤沢市民オペラ「湖上の美人」のセラノで出演。日本オペラ協会には、20 年「紅天女」の藤原照房でデビュー。22 年 11 月「咲く〜もう一度、生まれ変わるために〜」のタローで出演を予定している。藤原歌劇団には、21 年「ジャンニ・スキッキ」のリヌッチョでデビュー。22 年「コジ・ファン・トゥッテ」のフェランドで好演。その他、マロオケ 2021 /モーツァルト「レクイエム」のテノールソロを務めるなど、これからの活躍が期待されている。

日本オペラ協会会員。藤原歌劇団団員。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部講師。新潟県出身。



ミクリ：別府 美沙子（ソプラノ）

Mikuri: Misako BEPPU (Soprano)

東京音楽大学卒業、同大学大学院修了。第5回 Lissone 音楽コンクール（イタリア）第2位。第4回浜響ソリストオーディション第1位。第46回イタリア声楽コンクール及び第53回日伊声楽コンクール入選。イタリア・ミラノに留学中、パンディーノ市「カルメン」フラスキータ、バレーゼ・リグーレ市オペラ・フェスティバル「リゴレット」チェブラーノ伯爵夫人及び小姓、パンディーノ市「リゴレット」ジルダ、ヴィメルカーテ市「セビリャの理髪師」ロジーナで出演。国内でも「ラ・ボエーム」ムゼッタ、「コジ・ファン・トゥッテ」フィオルディリージ及びデスビーナ、「修道女アンジェリカ」ジェノヴィエツファ、「青ひげ」エレオノール、「電話」ルーシー、「愛の妙薬」アディーナ、「仮面舞踏会」オスカル等で出演。日本オペラ協会には、21年「キジムナー時を翔ける」の伊集院薫でデビュー。藤原歌劇団には、21年「ジャンニ・スキッキ」のラウレッタでデビュー。その他、17・19年小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト「カルメン」にフラスキータのカヴァーとして参加し、同プロジェクト「子供のためのオペラ」に出演。日本オペラ協会会員。藤原歌劇団団員。東京都出身。



ミクリ：相楽 和子（ソプラノ）

Mikuri: Kazuko SAGARA (Soprano)

国立音楽大学卒業、同大学大学院修了。卒業時に武岡賞、修了時に最優秀賞を受賞。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第37期生修了。育成部入所時に、立石信雄研究生奨学金を授与される。2019年度第4回日本オペラ振興会立石信雄海外研修奨学生、20年度さわかみオペラ芸術振興財団として、19年よりイタリア・ミラノに留学。オージモ市立オペラアカデミーで研鑽を積む。第29回奏楽堂日本歌曲コンクール歌唱部門第3位。下原千恵子、B. フリットリの各氏に師事。16年国立音楽大学大学院オペラ公演「ドン・ジョヴァンニ」のドンナ・アンナでデビュー。18年オペラ歌手育成部修了公演「フィガロの結婚」の伯爵夫人で高い評価を得ている。留学中、イタリアにて多数コンサートに出演するなど、今後の活躍が注目されている新進ソプラノ。日本オペラ協会には、20年「紅天女」タイトルロールのアンダースタディーを経て、21年「魅惑の美女はデスゴッデス！（死神）」の死神でデビューし、好評を得ている。22年11月「咲く〜もう一度、生まれ変わるために〜」の桜で出演を予定している。日本オペラ協会会員。藤原歌劇団団員。福島県出身。

2022/2023 シーズン 今後の公演予定

詳細は公式 HP をご参照ください📄



Opera

ベルカントオペラフェスティバル イン ジャパン 2022 ロッシーニ作曲「オテッロ」

2023 年 1 月 20 日 (金)・22 日 (日)14:00 テアトロ・ジーリオ・ショウワ

指揮：イバン・ロペス＝レイノソ／演出：ルイス・エルネスト・ドーニャス

出演：ジョン・オズボーン、レオノール・ボニージャ、ミケーレ・アンジェリーニ、アントーニオ・マンドゥリッロ
トーニ・ネジチュ、藤井泰子、渡辺 康、西山広大

合唱：藤原歌劇団合唱部／管弦楽：ザ・オペラ・バンド

藤原歌劇団公演 プッチーニ作曲「トスカ」 ニュープロダクション (新制作)

2023 年 1 月 28 日 (土)・29 日 (日)14:00 東京文化会館大ホール

2023 年 2 月 4 日 (土)14:00 愛知県芸術劇場大ホール

指揮：鈴木恵里奈／演出：松本重孝

出演：小林厚子、佐田山千恵、澤崎一了、藤田卓也、折江忠道、須藤慎吾、伊藤貴之、東原貞彦、押川浩士、泉 良平
松浦 健、井出 司、龍 進一郎、大塚雄太、坂本伸司、別府真也、網永悠里、中桐かなえ

合唱：藤原歌劇団合唱部／管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団 (東京公演)、セントラル愛知交響楽団 (愛知公演)

日本オペラ協会公演 日本オペラシリーズ No.84 三木稔作曲「源氏物語」 ニュープロダクション (新制作)

2023 年 2 月 18 日 (土)・19 日 (日)14:00 Bunkamura オーチャードホール

指揮：田中祐子／演出：岩田達宗

出演：岡 昭宏、村松恒矢、山田大智、下瀬太郎、佐藤美枝子、砂川涼子、向野由美子、古澤真紀子、相樂和子
芝野遥香、丹呉由利子、佐藤 祥、海道弘昭、川久保博史、江原啓之、豊嶋祐壹、長島由佳、中井奈穂、森山京子
松原広美、市川宥一郎、高橋宏典、河野めぐみ、城守 香、和下田大典、平尾 啓

合唱：日本オペラ協会合唱団／管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

Concert

団会員企画シリーズ オペラ・コンチェルタンテ プッチーニ作曲「ラ・ボエーム」

2022 年 12 月 13 日 (火)18:30 渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール

ベルカントオペラフェスティバル イン ジャパン 2022

「ベルカントコンサート」2023 年 1 月 7 日 (土)18:00 稲城市 i プラザホール

ドニゼッティ作曲「パリのジャンニ」2023 年 1 月 14 日 (土)18:00 稲城市 i プラザホール

「BOF スペシャル・ガラ・コンサート」2023 年 1 月 16 日 (月)18:30 ユリホール

「バロックコンサート」2023 年 1 月 21 日 (土)18:30 イイノホール

MEMO

本件に関する報道関係者様からのお問合せ先 ※取材・インタビューのご依頼をお待ちしております。

公益財団法人日本オペラ振興会 事業部 広報担当：中ノ森、飯田

TEL.044-819-5505 FAX.044-819-5205

e-mail : press@jof.or.jp 公式 HP : <https://www.jof.or.jp>